

## 『電機・電子業界 地球温暖化対策 進捗報告会』実施報告

1997年にスタートした自主行動計画が2013年3月で終了し、2020年に向けた新たな計画である低炭素社会実行計画が2013年度からスタートしました。この計画更新のタイミングで、自主行動計画の総括と低炭素社

会実行計画の推進状況について、会員の皆様に報告するため「電機・電子業界 地球温暖化対策 進捗報告会」（東京会場：2014年1月30日、大阪会場：2014年2月6日）を開催しました。

### プログラム

#### ○テーマ：「地球温暖化問題と最近の動向」

東京会場講師：経済産業省 商務情報政策局

環境リサイクル室長

江澤 正名 殿

大阪会場講師：経済産業省 商務情報政策局

情報通信機器課 環境リサイクル室

課長補佐

伊藤 暁 殿

#### ○テーマ：「電機電子業界の

地球温暖化対策の進捗」

両会場講師：電機・電子温暖化対策連絡会

運営委員会 委員長

（株式会社日立製作所 地球環境戦略室

副室長）

高橋 庸一 殿



東京会場の様子

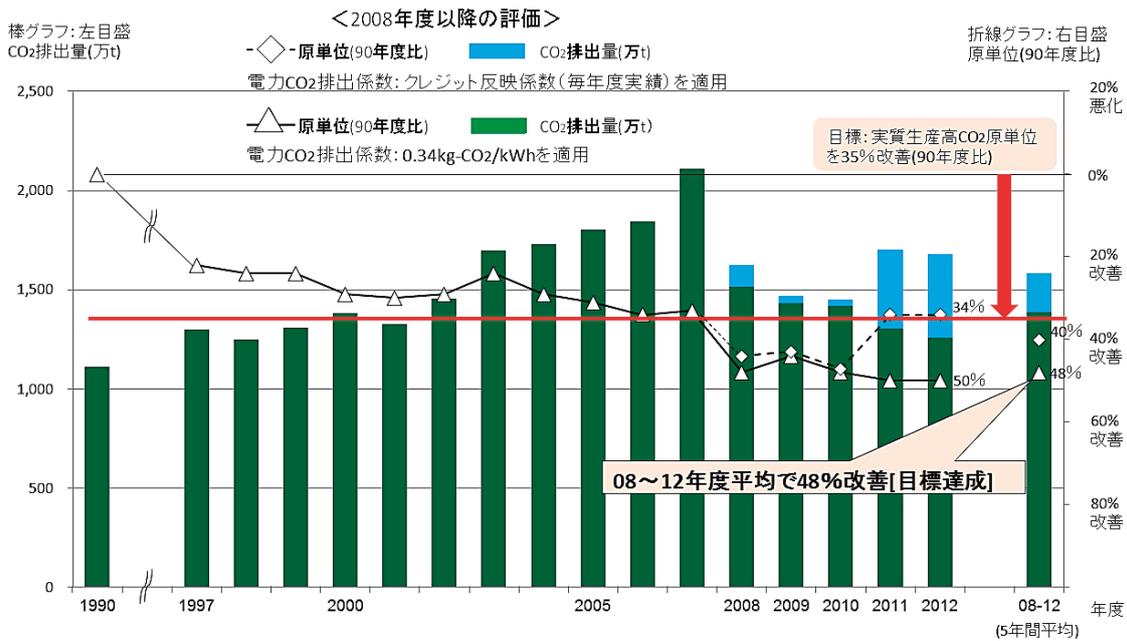


大阪会場の様子

■自主行動計画

「自主行動計画」では、生産効率の改善を進め、2012年度までの目標（2008～2012年度平均の実質

生産高CO<sub>2</sub>原単位を1990年度比35%改善する）を達成しました。



■低炭素社会実行計画

「低炭素社会実行計画」では、地球全体の温暖化抑止への寄与をさらに高めるため、生産プロセスの効率改善目標（2020年に向けエネルギー原単位改善率年平均

1%）の設定とともに、供給する省エネ機器・サービスによる社会への貢献活動を加え、業界一丸となって取組みを進めていきます。

排出抑制貢献の評価方法

貢献量	<p>効率向上のシナリオ(例:テレビ)</p> <p>製品使用時の年間CO<sub>2</sub>排出量</p> <p>基準 対象</p>	<p>代替シナリオ(例:太陽光発電)</p> <p>単位エネルギー供給時のCO<sub>2</sub>排出量</p> <p>基準 対象</p>
	<p>排出抑制貢献量(年間総量) = 排出抑制貢献量 × 年間供給台数</p>	<p>排出抑制貢献量(年間総量) = 排出抑制貢献量 × 年間エネルギー供給量</p>
<p>排出抑制貢献量(総量) = 排出抑制貢献量(年間総量) × 稼働年数</p>		

※低炭素社会実行計画への参加申請は随時受け付けております。ご要望の際は [ondankataisaku@jeita.or.jp](mailto:ondankataisaku@jeita.or.jp) までご連絡ください。

〔低炭素社会実行計画ポータルサイト：<http://www.denki-denshi.jp/dl2011jan/>〕